禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D19

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
３級 建築大工 学科試験問題
(大工工事作業)

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
   イ.　一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
   ロ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
   ハ.　答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　建築基準法関係法令によれば、土地に定着する工作物のうち、屋根及び柱若しくは壁を有するものは、建築物とされている。

2　在来軸組構法は、組積式構造である。

3　木構造において、継手は揃(そろ)えて配置した方がよい。

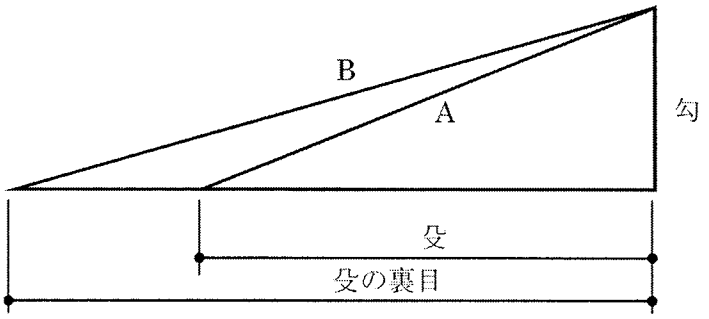
4　断面寸法15mm×90mmの木材は、一般に、圧縮力を負担する筋かいに適している。

5　2階建て木造住宅の柱には、通し柱と管柱がある。

6　はりは、一般に、背を下端に使用するとよい。

7　桁の上端から母屋の上端までの高さは、一般に、勾である。

8　次図において、隅勾配を示しているのは、Bである。



9　さしがねの裏目10は、表目で約17である。

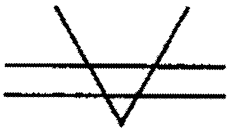
10　たる木の鼻を立水に切る場合、中勾の返し勾配を用いる。

11　電動丸のこ盤で木材を切断する場合、歯が被削材に触れない状態でスイッチを入れ、丸のこの回転が定速運転となってから加工するとよい。

12　両刃のこぎりにおける縦びきの歯と横びきの歯は、刃先の角度が同じである。

13　硬い材料をかんなで削る場合、かんな刃の仕込み勾配(切削角)は、軟らかい材料を削る場合よりも緩勾配にするとよい。

14　一般に使用されている墨付けにおいて、次図は、にじり印を表す記号である。



正しい
誤り

15　根切りとは、遣方に従い、幅、深さなどを決めて地盤を掘り下げる工事をいう。

16　基礎コンクリートの養生では、存置期間内であっても型枠を早く外して日光や風にさらした方がよい。

17　柱に背割りをする主な理由の一つは、見付面の割れを防ぐためである。

18　ヒバ材は、木造建築物の土台に適している。

19　木造平屋建ての建方として、次の順序は正しい。
①土台→②小屋組→③軸組

20　敷居の溝は、一般に、木裏に加工するとよい。

21　階段の勾配は、踏面を広くするほど急になる。

22　ゆがみ直しは、柱と土台や胴差しなどの横架材と仕口の胴付きを密着させ、ボルト締めの仕口の胴付きは、すき間のない程度に半締めしておく。

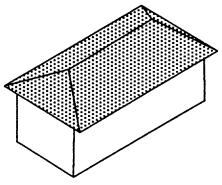
23　柱の養生紙は、反りを防ぐためのものである。

24　集成材は、反りや狂いなどが生じやすい。

25　木材の辺材は、一般に、心材よりも腐りにくい。

26　水周りの壁下地には、シージングせっこうボード(耐水せっこうボード)を使用するとよい。

27　次図は、寄棟屋根を表している。



28　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、両開きとびらを表す平面表示記号である。



29　労働安全衛生法関係法令によれば、3mの高所から物体を投下するときは、下に人がいなければ、そのまま投下してもよいこととされている。

30　労働安全衛生法関係法令によれば、はしご道を設置する場合、はしごの上端の突出し長さは、床面から30cm以上とするとされている。